

～ 明智光秀の思いを馳せつくった ～ ときシードル



瓶のラベルには、織田信長の家臣、明智光秀が謀反をおこし、京都の本能寺を襲撃する前に詠んだとされる連歌がデザインされている。



左から順に相内さん、久保さん、佐々木市長。土岐さん(右)

六月二日、市内神山の「土岐りんご園」土岐彰寿さん、白神ワイナリーの専務取締役COOの相内英之さん、ブランディングディレクターの久保茜さんが佐々木孝昌市長と一戸治孝副市長を訪問し「ときシードル」の発売を報告しました。

土岐さんは、以前、関東で技術者として働いており、2年半前NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放送が決定したことを知りました。主人公の明智光秀は、土岐源氏一族とつながりがあるとされており、このチャンスを生かし何か企画できたら良いなと思ったそうです。

そんなある日、土岐さんはインターネット通販サイトでシードルを注文しました。その時にふと、実家はりんご園であるし、五所川原市発祥の黄色いりんご「トキ」を使い、シードルづくりをしてみようかとひらめきました。土岐さんはシードルづくりを実現させるため、当時勤めていた会社を退職し実家のりんご園を継ぐことにしました。

その後、シードルづくりについて色々と調べているうち、白神ワイナリーのことを知り訪ねてみることにしました。すると、トントン拍子に話が進み醸造を依頼することとなり、ついに、今年の五月、五百本限定で「ときシードル」を販売することになりました。

土岐さんは「今回発売された「ときシードル」は、大河ドラマの影響もあり大好評で既に半分ほど売れました。味わいは、光秀が本能寺の変に至るまでの思いを表したような味と香りに仕上がりました。アルコール度数は七パーセント、辛口で、パンやチーズ、肉や魚のほか和食にも合う幅広いペアリングとなっており、皆様には光秀の気持ちになつて味わっていただきたいです。今後は、県産りんごの素晴らしさを伝え、県や市の発展のために貢献していきたいです。」と話してくださいました。

佐々木市長は「五所川原市発祥のりんご「トキ」と大河ドラマを結びつけたシードルは話題性もあり、是非これから台湾に輸出して行ければ良いと思います。」とコメントを述べました。

ときシードルは両家の家紋である桔梗の花をあしらった黒い箱に、黄金色に輝きを放ち納められており、その姿は、凛としていて気品さえ感じられ、まるで光秀の決戦前の決意が漂っているかのようにでした。

【お問い合わせ先】 土岐りんご園 ☎ 〇一七三ー二九ー三〇一六

農業委員及び農地利用最適化推進委員を募集します

市では、現委員の任期満了を迎えるにあたり、農地等の利用の最適化の推進に関する事項に関し、その職務を適切に行なう農業委員及び農地利用最適化推進委員を募集します。

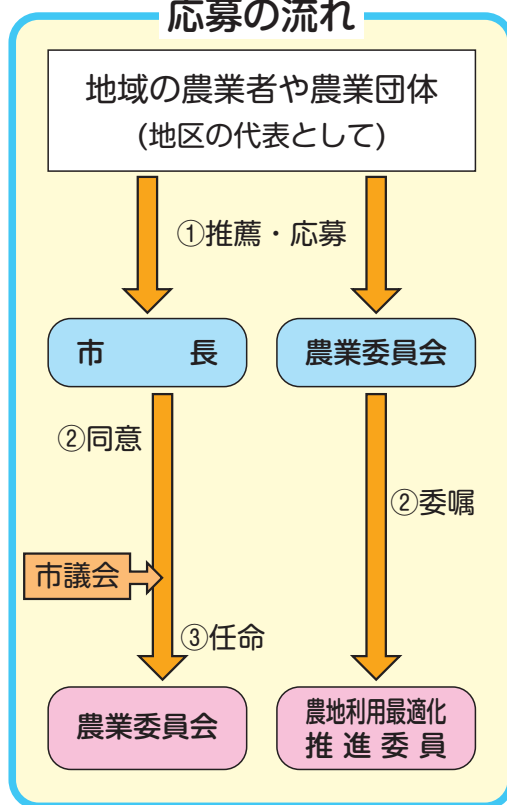
各委員の概要

	農業委員	農地利用最適化推進委員
1 定 数	20人	20人
2 任 期	令和3年3月28日から令和6年3月27日	委嘱の日から令和6年3月27日
3 業務の概要	農地法に関する許認可業務 農地利用の最適化の推進に関する業務 毎月の定例総会及び現地調査、研修会等への出席	農地利用の最適化の推進に関する業務 ①担い手への農地の利用集積・集約 ②遊休農地の発生防止と解消 ③新規就農の推進 (担当区域内で活動) ※
4 報 酬	五所川原市特別職の職員で非常勤の報酬及び費用弁償に関する条例による	
5 身 分	市の非常勤特別職（業務には守秘義務が伴います）	
6 委員の要件	農業に関する識見を有し、農業委員会の業務を適切に行うことができる人	農地等の利用の最適化の推進に熱意と識見を有する人

※《農地利用最適化推進委員》の担当区域（5区域）

区 域 名	担当する区域	定員
市浦区域	合併前の市浦村の区域	2人
金木区域	合併前の金木町の区域	5人
五所川原北区域	字蘇鉄、大字太刀打、大字一野坪（朝日田崎、狐崎を除く。）、大字飯詰、大字下岩崎、大字毘沙門、大字長富、大字藻川、大字鶴ヶ岡、大字高瀬、大字田川、大字種井、大字長橋、大字川山、大字沖飯詰、大字桜田、大字新宮	6人
五所川原南区域	字幾世森、大字小曲、大字湊、大字姥苅、大字稲実、大字広田、大字七ツ館、大字梅田、大字中泉、大字浅井、大字水野尾、大字米田、大字唐笠柳、大字石岡、大字吹畑、大字漆川、大字一野坪（朝日田崎、狐崎）	3人
五所川原東区域	大字俵元、大字原子、大字羽野木沢、大字持子沢、大字高野、大字前田野目、大字福山、大字豊成、大字野里、大字神山、大字松野木、大字戸沢、大字金山	4人

応募の流れ



募集期間 令和2年8月3日（月）～ 令和2年9月4日（金） 必着

応募方法 「推薦」と「応募」の2種類の方法があります。

「応募用紙」・「募集要項」は募集期間中、五所川原市ホームページから、又は農業委員会事務局・農業委員会金木支所・農業委員会市浦支所で配布しております。

提出先 農業委員会事務局・農業委員会金木支所・農業委員会市浦支所

（お問い合わせ先） 農業委員会 ☎ 35-2111（内線2882）

オーガニック農家レストラン「わらふぁーむ」 7/21(火)オープン!!

市内高瀬鷹ノ爪の県道151号蒔田五所川原線沿いにオーガニック農家レストラン「わらふぁーむ」がオープンしました。店主の木村明日香さんは結婚を機にご主人の実家のある五所川原市に移り住み農業を営むこととなりました。結婚前、木村さんは神奈川県相模原市の農家レストランで料理長を務めていましたが、結婚後、農業に取り組んでいるうちに「自分が以前働いていた農家レストランのように、安全で新鮮な野菜を使って料理を作り、地域の方々に食べていただいて元気になってもらえるようなレストランをやりたい。」と次第に強く思うようになりました。

木村さんは農家レストラン開業のため、以前勤めていた料理店に手続き方法を問い合わせるなど色々奔走しながらも、青年等就農計画認定を取得しました。更に、次世代人材投資事業の資金を活用して木材を購入し、夫と二人で手作りの農家レストランを建て、やっとのことでオープンにこぎつけました。

料理のジャンルは特になく、季節の無農薬野菜を使った料理のプレートとカレーなどを週替わりで提供し、お客さんには辺り一面に広がる農園を眺め、のんびりとした雰囲気の中、ゆったりと味わっていただきたいそうです。

木村さんは、「ゆくゆくは、農業体験をしていける場所にもしたい。直売所を併設して、レストランや直売所が農家同士情報交換できるコミュニケーションの場となり、そして、ここに来ることで様々な人と人とが繋がり、鋭気を養ってもらって、また明日から頑張ってやっていこう!! と元気をもらえるような集える場所になればうれしい。」と笑顔で抱負を語ってくれました。



【お問い合わせ先】

～ オーガニック農家レストラン ～ わらふぁーむ

- 住 所：高瀬字鷹ノ爪321-10
- 電 話：080-1695-3617
- 営 業 日：金・土・日
- 時 間：11:00～15:00
 （※7/21(火) オープン当日のみ）
 11:00～18:00まで
- メニュー：野菜のプレート、カレー等
 ドリンク付きで1,000円(税抜き)
 ※メニューは季節によって異なる場合がございます。

令和2年度 北五地区農業委員会大会 中止のお知らせ

北五地区農業委員会協議会では8月20日(木)に中泊町パルナスで開催を予定しておりました標記大会について、新型コロナウイルス感染症感染予防のための適切な感染防止対策を講じて、すべての密(密集・密閉・密接)を回避することが困難であると判断したため、開催を中止することといたしました。

なお、県、国への政策提案につきましては、例年通り申し入れをする予定としております。

【お問合せ先】農業委員会

☎35-2111(内線2881)

夕市の開催について(お知らせ)

新型コロナウイルス感染予防・拡大防止のため、延期していた夕市ですが、7月3日から開催いたしました。

会員が丹精込めて栽培した農産物等を沢山ご用意し、皆様のお越しをお待ちしておりますので、どうぞお立ち寄りください。

お越しの際は、お手数ではございますが、マスクを着用し咳エチケットにご協力くださるようお願い申し上げます。

記

- 開催日 11月13日までの毎週金曜日
- 場 所 「コミュニティセンター栄」 駐車場
(みどり町4丁目130)
- 時 間 16時30分～17時30分(7月～8月)
15時30分～16時30分(9月～11月)

【お問合せ先】農業委員会 ☎35-2111(内線2883)

高収益作物次期作支援交付金について

新型コロナウイルス感染症の発生により卸売市場での売上げが減少する等の影響を受けた高収益作物（野菜・花き・果樹）について、高収益作物次期作支援交付金により定額支援をします。

【対象者】

令和2年2月から4月の間に出荷実績がある場合で、令和2年4月30日以降にこれらの高収益作物を作付けするために一定の取組を行う生産者。

(1)高収益作物(野菜、花き、果樹)の次期作に係る種苗等の資材購入や機械レンタル等

・5万円/10a(加温装置又はかん水装置がある施設栽培の花きは80万円/10a)

(2)新たな品種や新技術の導入等

・2万円/10a×取組数(※取組数は3つまで最大6万円/10a)

(3)花きについて高品質なものを厳選して出荷する取組

・1人につき2,200円/日

※取組内容や交付要件、並びに申請方法等の確認につきましては市農林水産課までご連絡ください。

【お問い合わせ先】農林水産課 農業振興係(市役所2階)
☎35-2111(内線 2512、2513)

各種申請の締切り日

◎農地法第4条申請、第5条申請

・農地を農地以外のものとして使用する場合

例：住宅・車庫・店舗建築

毎月25日締切り

(25日が市役所閉庁日の場合は翌開庁日)

◎農地法第3条申請、農用地利用集積計画の同意、競売・公売買受適格証明願

・農地を農地として貸借・売買する場合、競売・公売の入札に参加する場合

毎月25日締切り

(25日が市役所閉庁日の場合は翌開庁日)

◎あっせん申出

・あっせんにより農地を貸借・売買する場合

毎月5日締切り

(5日が市役所閉庁日の場合は翌開庁日)

【お問い合わせ先】農業委員会 農地係

☎ 35-2111 (内線 2884、2885)

総会の開催予定

○令和2年第9回総会

8月12日(木)15:00～ 市役所3階 議会委員会室

○令和2年第10回総会

9月10日(木)15:00～ 市役所2階B・C会議室

※法令により総会等の会議は公開されております。

また、会議録は農業委員会事務局にて縦覧できます。

【問い合わせ先】農業委員会 ☎ 35-2111 (内線 2881)

農地情報 令和2年7月現在

下記の農地について、受け手を捜しています。価格等の条件は交渉できる場合もあります。農地の位置図もありますので興味のある方は、下記までお問い合わせください。

番号	受付番号	区分	農地所在	地目	面積(a)	圃場整備有無	利用状況	10a当たり希望価格
1	302	売渡	金木町川倉七ツ野	畑	10.83		休耕畑	応相談
2	298	売渡	金木町芦野	畑	34.33		非耕作	応相談
3	300	売渡	金木町藤田酒井	田	2.94		非耕作	応相談
4	310	売渡	金木町喜良市坂本	畑	20.26		非耕作	登記手数料相当額
5	310	売渡	金木町喜良市富田	田	12.95	有	非耕作	登記手数料相当額
6	312	売渡	金木町高瀬上端山崎	田	35.69		非耕作	応相談
7	301	売渡	金木町高瀬雲雀野	畑	5.15		非耕作	応相談
8	294	売渡	金木町中柏木鍾石	田	51.56		水稲	応相談
9	305	売渡	金木町中柏木鍾石	畑	1.41		休耕	応相談
10	288	貸付	長富中道より南	田	32.70		水稲	応相談
11	308	貸付	毘沙門上熊石	畑	19.07		休耕	応相談
12	288	貸付	毘沙門熊石	田	61.88		水稲	応相談
13	288	貸付	飯詰石田	畑	14.99			応相談
14	289	貸付	飯詰石田	田	20.58		休耕地	応相談
15	288	貸付	飯詰影日沢	畑	61.47			応相談
16	295	貸付	飯詰影日沢	田	51.56		水稲	応相談
17	317	売渡	飯詰影日沢	畑	9.12		りんご	応相談
18	304	売渡	飯詰狐野	畑	24.85		休耕	応相談
19	291	貸付	飯詰沢田	田	84.90		水稲	応相談
20	288	貸付	飯詰福泉	畑	3.66			応相談
21	311	売渡	沖飯詰男鹿	田	17.80		水稲	応相談
22	313	貸付	沖飯詰帯刀	田	68.15		水稲	応相談
23	315	貸付	沖飯詰鴻ノ巣	田	5.58		水稲	応相談
24	320	売渡	一野坪朝日田	田	10.15		水稲	応相談
25	320	売渡	一野坪朝日田崎	田	280.16		水稲	応相談
26	292	売渡	太刀打早蔵	田	5.00		水稲	応相談
27	320	売渡	太刀打馬繋	田	9.89		水稲	応相談
28	306	売渡	川山森内	田	1.99		休耕	応相談
29	299	貸付	神山境山	田	79.20		非耕作	応相談
30	314	売渡	神山鶴野	畑	137.62		非耕作	応相談
31	303	売渡	金山松ケ枝	田	1.61		牧草	応相談
32	303	売渡	金山松島	田	55.08		牧草	応相談
33	309	売渡	金山八重田	田	60.87		牧草	応相談
34	284	売渡	米田八重田	田	104.52		水稲	応相談
35	316	貸付	小曲沼田	畑	18.71		休耕畑	応相談
36	283	売渡	広田足代	畑	17.88		野菜	応相談
37	284	売渡	松野木裏掛	田	112.56		水稲	応相談
38	319	貸付	持子沢隠川	樹園地	45.74		りんご	応相談

※農地を売りたい方・買いたい方、貸したい方・借りたい方はご相談ください。

【問い合わせ先】農業委員会事務局 農地係(内線2885)

農地パトロールを実施します!!

令和2年度も8月中旬から耕作放棄地の現地調査と利用状況調査を実施します。

この調査は、当市の農地全てを調査することにより、無断転用や耕作放棄地及び以前に指導を行った耕作放棄地の現状を把握し、地域の重要な資源である農地を守るための指導対象とすることや、耕作放棄地の再生利用に向けた事業及び「人・農地プラン」の作成活動に結びつけていくために実施します。

調査のため、農業委員会事務局職員、農林水産課職員、農業委員、農地利用最適化推進員が農地に立ち入る場合もありますのでご理解とご協力をお願いします。

【問い合わせ先】農業委員会 農地係

☎35-2111(内線2884)